

## 家庭科学習指導案

三次市立神杉小学校

指導者 廣田 朋恵

1 日時 平成26年6月25日(水)

2 学年 第6学年

3 単元名 暑い季節を快適に

4 題材について

### (1) 題材観

本題材は、学習指導要領第6学年の内容「C 快適な衣服と住まい」(1)衣服の着用と手入れのA「衣服の働きが分かり、衣服に関心をもって日常着の快適な着方を工夫できること。」に基づいている。本題材では、日常着の着方と手入れに関する実習などを通して、衣服への関心を高め、着方や手入れの基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、目的に応じた快適な着方を考え工夫する能力を育てることをねらいとしている。

題材構成に当たっては、(2)快適な住まい方のイ「季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、快適な住まい方を工夫できること。」との関連を図り、季節の変化や住まい方に合わせて涼しい着方を考えることなど、衣服の働きについて、日常生活と関連させて学習に取り組むことができるようにする。また、A(2)「家庭生活と仕事」と関連させて、家庭での実践へつなげることで、自分ができる仕事を増やしたり、家族に協力しようとする意欲を高めたりする。

我が国は四季の変化に富むことから、年間を通して快適な生活を送るためには、暑さ・寒さへの対処の仕方などを適切に工夫する必要がある。ここでいう快適とは、健康によく清潔で気持ちが良いことである。暑さ・寒さの対処の仕方については、住まい方も着方も空気の流れの調整が相互に関連している。そこで、1次では、第5学年で学習した温かい着方や住まい方の学習を基に、夏の涼しい住まい方や着方について自分の生活を見つめ課題をもつ。2次では、実験や調査を通して、涼しい住まい方や着方について理解する。3次では、涼しい住まい方や着方について学習したことを基に、家庭での実践計画を立て、家庭で実践する展開である。

本題材での学習は、中学校技術・家庭科の目的に応じた着用や衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れの学習へとつながっていく。

### (2) 児童観

本学級の児童は、家庭科への興味・関心は高く意欲的に取り組むことができる。しかし、学んだことを家庭生活で役立てたり、実践したりするまでには至っておらず、自己肯定感の低い児童が多い。また、課題解決に向けて意欲的に取り組み、多様な考えを発表するこ

とのできる児童がいる反面、問題の意味がなかなか理解できない児童や自分の考えを言葉で表現することに抵抗が強い児童がいるなど個人差がある。さらに、個々の経験や理解度の差により、題材への興味・関心や同じ時間内に取り組む課題の量にも差が生じている。

本題材における事前アンケートでは、次のような結果が得られた。

内 容	肯定的評価の児童の割合
1 家庭科の授業が好きである。	84%
2 家庭科の勉強は生活に役に立つ。	100%
3 家庭科で学習したことを家でしている。	78%
4 自分は家族の役に立っていると思う。	73%

### (3) 指導観

研究内容にそって、次の2点に焦点を当てて指導していく。

#### 視点1① 問題解決的な学習の充実

- ・家庭で「衣替え」を行い、季節や気温の変化に応じた生活の営みに触れることで、題材への興味・関心をもたせる。家族と一緒に衣替えをしながら抱いた衣服への愛着や疑問を交流し、そこから問題を見出し、どのように工夫すれば自分や家族が快適に過ごせるか考えさせる。

- ・宿泊学習で快適に過ごすための衣服を選ぶという活動を仕組み、学習したことを場面に応じて使いこなすことのおもしろさや使いこなせたという充実感が感じられるようにする。

- ・家庭で実践したことを交流する実践報告会を通して、自分の学びを振り返らせることで、自己肯定感を高め、生活をよりよくしようとする意欲をさらに高めていく。

#### 視点2② 思考操作を明確にした学習活動の充実

##### ○類推

- ・寒い季節における衣服の着方の学習を想起させ、それと同じようにして暑い季節も快適に過ごすために衣服の着方を工夫できるのではないかと解決の方法を見つけられるようにする。

##### ○比較

- ・日頃自分が着ている衣服について、吸水性、通気性、伸縮性の観点から布地を比較させ、布地の特徴による役割の違いを理解させる。

##### ○関係付け

- ・快適に過ごすための日常着を選ぶ時に、「なぜ、その着方だと涼しく快適に過ごせるのか」を説明する場を仕組む。衣服の形や布地の汗の吸い取りやすさを涼しさと関連させて理解できるようにする。

### 5 題材の目標

- 衣服の働き、日常着の着方や住まい方に関心をもち、夏を涼しく快適に過ごすための着方や手入れをしたり、住まい方を考えたりしようとする。

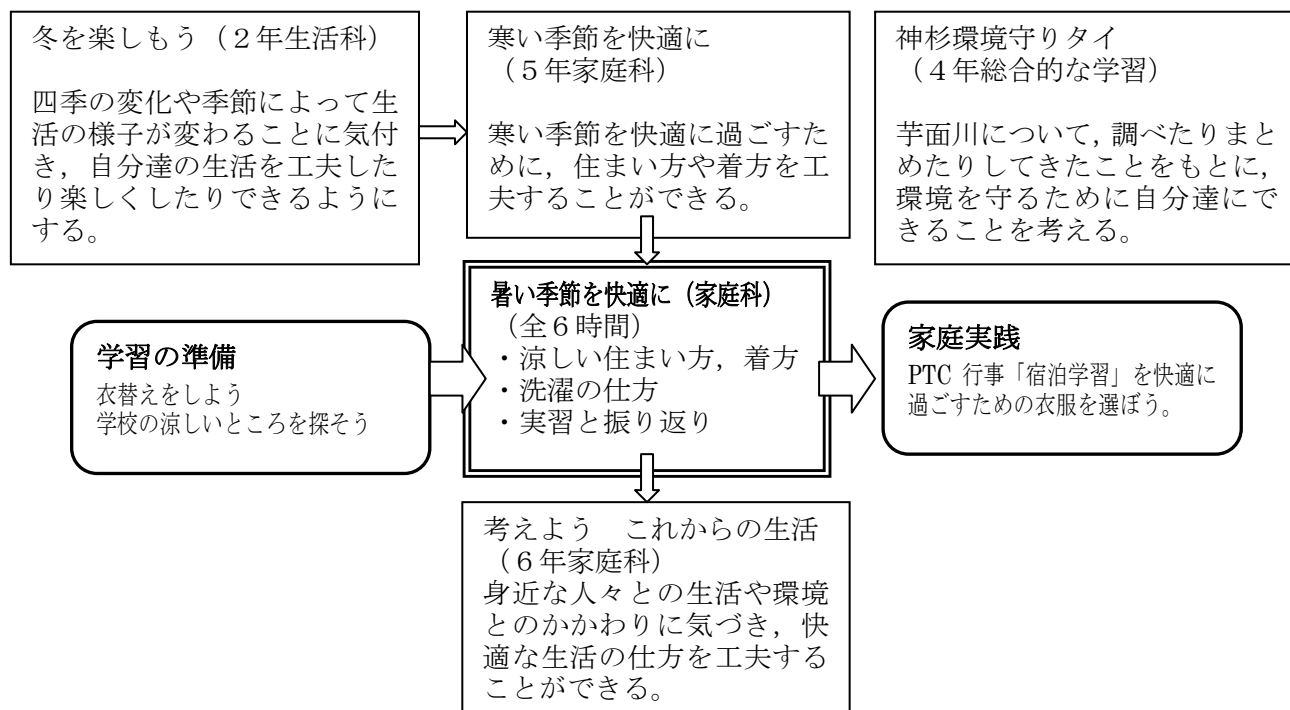
【家庭生活への関心・意欲・態度】

- 日常着の着方や住まい方について課題を見付け、自分なりに夏を涼しく快適に過ごすための着方や住まい方について考えたり、工夫したりする。【生活を創意工夫する能力】
- 夏を涼しく快適に過ごすための手入れを行うことができる。【生活の技能】
- 衣服の働きや季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、夏を涼しく快適に過ごすための着方や住まい方について理解する。【家庭生活についての知識・理解】

6 題材の評価規準


家庭生活への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の働き，日常着の着方や住まい方に関心をもち，快適に過ごすための着方をしたり，住まい方について考えたりしようとしている。</li> <li>・衣服の手入れに関心をもち，衣服を大切に扱い，気持ちよく着るために洗たくをしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の着方や住まい方について課題を見付け，衣服の保健衛生上の働きや生活活動上の働きをもとに，快適に過ごすための着方や住まい方について考えたり，自分なりに工夫したりしている。</li> <li>・衣服を気持ちよく着るための手入れの仕方について考え，自分なりに工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いを中心とした洗濯ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の働きや季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり，快適に過ごすための着方や住まい方について理解している。</li> <li>・手洗いを中心とした洗たくの仕方を理解している。</li> </ul>


7 指導計画（他教科等との関連）



8 題材指導計画

(本時 4 / 10 時間)

段階	次	学習内容	評価の観点				評価規準	評価方法
			関・意・態	創意工夫	技能	知識・理解		
見つめる・見通す		○家庭で衣替えを行い，季節の変化に応じた住まい方や衣服の着方をしていることに気付く。						
		○寒い季節の住まい方の学習を想起し，快適な住まい方の工夫について自分の生活を振り返り，学習の見通しをもつ。(1)	○				快適な住まい方や着方について関心をもち，快適な住まい方・着方について考えようとしている。	ワークシート 行動観察
探る・深める	二次	○実験を通して，通風の仕方や暑さへの対処の仕方についてまとめる。(1)				○	季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり，すずしく過ごすための住まい方について理解している。	ワークシート
		○快適に過ごすための住まい方について自分なりに考え，学校や教室をすずしくする。(1)		○			住まい方についての課題を見付け，自分なりに快適な住まい方について考えたり，工夫したりしている。	ワークシート 行動観察
		○快適に過ごすための衣服の着方を考える。(1) 【本時】				○	衣服の保健衛生上の働きや季節や気温に応じた着方について理解している。	ワークシート
		○夏の宿泊学習での活動や環境の状況を踏まえた衣服の着方を考える。(1)		○			衣服の保健衛生上の働きや生活活動上の働きをもとに，場面に応じた日常着の着方について考えたり自分なりに工夫したりしている。	ワークシート 発言
		○衣服の手入れの必要性について考える。(1)	○				衣服の手入れに関心をもち，衣服を大切に扱い，気持ちよく着るために洗たくをしようとしている。	ワークシート

		○洗たくの仕方について調べ、計画を立てる。(1)		○		○ 手洗いを中心とした洗たくの仕方を理解している。 衣服を気持ちよく着るための手入れの仕方について考え、自分なりに工夫している。	ワークシート
		○計画にしたがって、手洗いで洗たくをする。(1)			○	手洗いを中心とした洗濯ができる。	行動観察
生かす 	三次	○学習したことを基に家庭での実践計画を立てる。(1)		○		快適な着方について課題を見つけ、実践計画について考えたり、自分なりに工夫したりしている。	ワークシート
		家庭での実践					
振り返る		○実践報告会を通して学習を振り返り、まとめをする。(1)	○			衣服の働き、日常着の着方や手入れに関心を持ち、生活に活かそうとしている。	ワークシート発表

## 9 本時の目標

衣服の保健衛生上の働きが分かり、気温や季節に応じた着方について理解することができる。

## 10 準備物

衣服 ワークシート 実験用具 (布, 水, 筒, 紙)

## 11 本時の評価規準

衣服の保健衛生上の働きが分かり、気温や季節に応じた着方について理解している。

## 12 学習の展開

過程	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) と評価規準及び評価方法 (※)
見つめる	1 家庭で行った衣替えでの気づきを発表する。	○夏になって、自分たちの衣服はどのように変わったでしょう。 ・衣服の形…袖口や襟元が広い。 風通しがよい。 ・布地…うすい、麻・綿	○既習の学習が想起できるよう、掲示しておく。 ○衣服の着方を工夫すれば、夏をすずしく快適に過ごせることを知らせる。

	2 本時の課題を確認する。		夏を快適に過ごすには、どのような着方をするとよいのだろう。
見通す	3 場面を設定し、快適に過ごすための衣服になっているかどうか、予想する。	○7月の青空学級に着ていく服を選びましたが、あまりすずしくありませんでした。なぜでしょうか。 (通気性) 空気が通らない。 (吸水性) 汗を吸いそうにない。	○考えの根拠を「通気性」「吸水性」の視点で整理し、衣服の保健衛生上の働きについて知らせる。
探る	4 観察・実験を行う。 ・グループごとに実験を行う。 ・結果をまとめ、整理する。	○布地によってすずしさが違うのか、確かめてみましょう。 (1) 通気性…筒に布を被せて息を吹きかけ、紙の揺れを比べる。 (2) 吸水性…布に水をかけ、染み込みやすさを比べる。	○実感を伴った理解とさせるために、布地の特徴を比較させる。 <b>【比較】</b>
深める	5 すずしい衣服の着方を発表する。	○どんな衣服がすずしいといえるでしょう。 ・風通しがいい布地は、空気の流れを作ることができる。 ・水が染み込む布地は、汗をよく吸う。	<b>言</b> 実験の結果をすずしい着方と関係付けて説明させる。 <b>【関係付け】</b> ※衣服の保健衛生上の働きや気温や季節に応じた着方について理解している。(ワークシート)
まとめる	6 本時の学習のまとめをする		夏を快適に過ごすには、空気を通し、汗を吸いやすい着方をするとよい。
振り返る	7 すずしい着方を考える。	○家で考えてきた「おすすめコーディネート」を見直してみましょう	○通気性と吸水性の2つの視点で見直すようにする。
	8 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。	○振り返りを書きましょう。	○次時は、本時の学習を基に、宿泊学習を快適に過ごすための衣服について考えることを伝える。